

ディスプレイデザイン大賞 2010『予科練平和記念館』に決まる

この1年間の国内外の空間環境系デザイン賞を決める「ディスプレイデザイン賞2010」(主催: (社)日本ディスプレイデザイン協会)の審査会がこのほど東京で行なわれ、応募総数795作品(ボード数2,031枚)の中から「ディスプレイデザイン大賞2010」にミュージアム作品の『予科練平和記念館』-写真-が選ばれた。

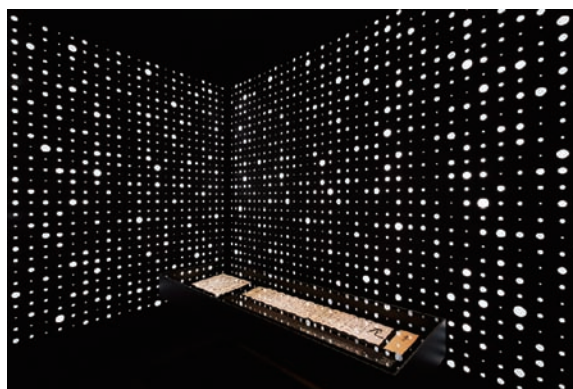
その他に優秀賞10作品、奨励賞10作品、特別賞2作品、協会特別賞(地域・学生)6作品など。



■『予科練平和記念館』 資料

命の尊さを伝える

太平洋戦争末期「特攻」という非情な作戦を決行し、多くの犠牲者をだした日本軍。「予科練平和記念館」は特攻による戦死者の多くを占めた予科練とその時代の歴史を通し、命の尊さと平和への認識を深めてもらうことを目的としている。展示室という枠組で縛られた従来型の展示ではなく、展示のストーリーを建築の空間構成の骨格とし、歩みを進める中で理解ができ、施設全体でメッセージを感じ取れるデザインとした。屋内外に映し出される光と空は展示と呼応しながらその移ろいを感じさせ、戦争の時代を生きた少年たちが見たであろう空と現代の平和な空とを来館者が心の中で重ね合せることのできる重要な展示装置となった。建築からも伝え、考えさせるなど展示や資料だけでは感じさせることのできない演出を建築と展示の一体設計によって実現させた。



予科練平和記念館

total direction	: 乃村工藝社 吉永光秀	production	: 乃村工藝社
architectural design	: 乃村工藝社 吉永光秀、大西 亮 吉村靖孝建築設計事務所 吉村靖孝	client	: 阿見町
display design	: 乃村工藝社 吉永光秀、大西 亮 安藤達哉、井上裕史	photograph	: 浅川 敏
graphic design	: サードワーク 河合嘉章		
product direction	: 乃村工藝社 野崎一郎		
place	: 茨城・阿見町		
date	: 2009.12		

■ディスプレイデザイン賞とは■ (社)ディスプレイデザイン協会主催により、空間環境系(エキジビション、コミュニケーションスペース、ミュージアム、ショーウィンドウ、商業施設、複合施設など)の優秀な作品を評価、公表し、表彰を行う総合コンテストとして、30年以上の永きに渡り開催されている権威ある賞。毎年6月に審査を行ない、12月に入賞・入選作品が収録された年鑑の刊行と贈賞を行なっている。

DDA Award for Display Design of the Year 2010